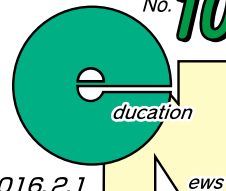


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 107



2016.2.1

ews

平成27年11月29日(日)、小江戸川越ハーフマラソンが開催され、鯨井中学校吹奏楽部の生徒の皆さんがランナーを応援しようと、沿道で演奏をしました。鯨井中学校はハーフコースの折り返しポイントになっており、他の生徒たちも沿道から声援をおくったり、ランナーとハイタッチをしたりする姿がみられました。



応援演奏でランナーを励ます♪
鯨井中学校吹奏楽部



楽しく豊かな学級や学校の生活づくりについて
話し合う、牛子小学校の子どもたち

平成27年11月24日(火)、牛子小学校で、特別活動研究発表会が開催されました。「主体的に活動できる心豊かな児童の育成」を研究主題として、10学級が授業公開を行い、市内外から150人を超える教員が参加しました。

発達段階に合わせた指導の在り方や「牛子スタイル」と称した板書の工夫等の研究を深め、発表会当日の生き生きと活動している子どもたちの姿から、2年間の研究の成果を感じ取ることができました。

川越市マスコットキャラクター

ときも



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、素晴らしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

- ◆高階中学校の取組/子どもサポート発表会・「小江戸見つけ隊」全作品展示会… 2
- ◆オールマイティーチャー配置事業/むかしの勉強・むかしの遊び展… 3
- ◆新入生の1年間… 4～5
- ◆教育相談Q&A・給食で使用する自慢の川越産!!… 6
- ◆子どもが参加できる各種講座・フォトニュース… 7
- ◆知っ得!文化財… 8

高階中学校では、平成25年度より一般社団法人『ハタモク』の協力のもと、進路学習の一環として総合的な学習の中で『働く目的を考える』をテーマとして取り組んでいます。3年目となる今年度は、去る11月18日(水)に体育館にて、社会人・大学生等37名の方を講師に迎えて実施しました。

今年度は一年生の授業で、講師一人に対して四〜五名の生徒でグループをつくり、車座になって話し合いをします。各グループの話し合いは、生徒が四種類のカード(「お金」「家族」「社会貢献」「夢」)を、仕事を選ぶうえで大切だと思う順に並べ、その理由を発表し、それに対して、講師がコメントをするという形で進められていきます。講師は、途中で二回、入れ替わります。



仕事を選ぶうえで大切なこととは？
「お金」「家族」「社会貢献」「夢」

最後に、多くの国をまわって教育活動をしている『ハタモク』の藤本さんから、映像を交えながら、働くことの意義や目的についてお話していただきました。



特に印象的だったのが、日本の子どもたちがいかに教育環境に恵まれているかのお話でした。

【生徒の感想】

Aさん

働くのにはお金がすべてではないということ。もちろんお金も必要だけれど、それよりも夢を追いかけることのほうが必要だと感じました。これからは、自分が大切だと思うことを考えられたから、まず、自分が本当

にやりたいこと、自分にできること、夢を見つけていきたいです。そして将来は、保育士などになれたら、自分の好きな音楽にも触れられるし、自分が大切だと思っている『人の役に立てる』ということもできるのではないかと思います。

Bさん

友達の新しい一面を見つけたことができました。「こんな人だなあ」と思っていたのは、まったく逆の人だったりする人もいて、人それぞれ違うということ、話すことがみんな違い、聞いていて新しい発見がたくさんありました。今日話したクラスメートのすべての発表に感心しました。そして、今は、まだ、はっきりしていませんが夢があるので、その夢にかかわることを学んでみたいと思っています。もっと人と接して人間関係を深め、将来は、人とかかわりあう仕事で子供を教育する先生などになりたいと思いました。ほかに、自分が楽しいと思うことをやりたいです。皆が差別なく、自由に生きられるよう考えながら生活していきたいと思います。

平成27年度 子どもサポート発表会・「小江戸見つけ隊」全作品展示会を開催します!

子どもサポート発表会 2/13(土)

子どもたちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組む「川越・地域子どもサポート事業」。よりよい活動を目指し、それぞれの取組が紹介されます。

- ◆日時：平成28年2月13日(土)
午前9時20分～午前11時30分
- ◆会場：やまぶき会館
- ◆内容：今年度の活動発表(中央南地区、名細地区、霞ヶ関北地区)及び他の11地区の活動をスライドで紹介/子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」金賞受賞者の発表・表彰/講評/入賞者の作品48点をロビーに展示

問い合わせ…地域教育支援課 TEL 224-6086

「小江戸見つけ隊」全作品展示会

2/17(水)
2/21(日)

子どもサポート発表会で表彰された作品をはじめ、作文・絵画・新聞の応募全作品(1,124点)を展示します。

- ◆日時：平成28年2月17日(水)～21日(日)
午前9時～午後5時
(最終日は午後3時まで)
- ◆会場：川越市立美術館市民ギャラリー
(入場無料)



昨年度の展示会の様子

皆さまの来場を
お待ちしております



オールマイティーチャー配置事業

Part 4

本事業は、各学校の課題に応じて、子どもたち一人一人に応じたきめ細かな教育活動を推進するため、教員（オールマイティーチャー）を川越市独自に採用し、配置するものです。川越市では、他市に先駆けた事業として実施し、今年で3年目。現在、小・中学校合わせて13校に14名を配置しています。

東中学校の齋木 眞一校長に状況を伺いました

Q 今年度、東中学校が取り組むべき学校課題とは何ですか。

現在、多くの生徒が落ち着いた学校生活を送ることができています。そのような状況で、本年度の本校の学校課題は、学力向上です。授業をより質の高いものにし、生徒が毎時間「できた、分かった」と自信を持って言えるような学校づくりを進めています。

Q 課題を解決するために、どのように取り組んでいますか。

A 学力向上のための会議で、生徒一人一人の学習状況を把握・分析する。その上で、一人一人の生徒に応じた学習指導を実践する、学習環境を整備するなど、全職員で学力向上を目指しています。

Q オールマイティーチャーの配置とどのような関連がありますか？

A 学校現場は、教科指導のみならず、生徒指導、給食や清掃、委員会活動、部活動等、様々な校務があります。そのため、残念ながら、課題解決に向けて、十分な時間がとれないのが現状です。増員により生み出した時間は、学力向上のための会議開催回数増加につながっています。また、理科の授業において、ティームティーチングが可



生徒が興味・関心を持って、観察・実験に意欲的に取り組んでいます

能となりました。さらに、配置された教員が副担任として加わったため、より多くの教員で生徒一人一人にきめ細かな指導を行っています。

Q オールマイティーチャー配置により、実際にどのような効果がありましたか。

A 実験や観察が充実したことで、理科に対する興味・関心が高まったと感じています。また、教員の目が行き届くようになり、生徒指導対応が迅速かつ適切にできるようになり、不登校生徒数の減少やいじめの発生件数の減少がみられます。落ち着いた学習環境は、学力向上の基盤となります。

Q 今後のオールマイティーチャー配置事業への校長の思いをお聞かせください。

A オールマイティーチャーの配置は、落ち着きと潤いのある学校づくりには極めて有効な手立てです。今後も配置された人材を有効活用し、課題の解決に向けて学校経営に取り組んでまいります。

博物館 第26回むかしの勉強・むかしの遊び展



炭火アイロンに挑戦！

「むかしの勉強・むかしの遊び展」は、当館の収蔵資料から地域の人々の暮らしの移り変わりをたどり、昭和30～40年代の教室・居間・台所や駄菓子屋の店先を再現しています。さらに今回の展示では昭和40年のアンサンブルステレオを始め、暮らしを豊かにしてくれた電化製品やみんなが熱中したベーゴマとその文化などを展示しています。

展示期間中には市内の全市立小学校の3年生が、この展示を活用して社会科「川越市の人々のくらしのうつりかわり」の学習を行っています。特別展示室では、冷蔵庫の「今と昔」について博物館職員のミニ授業を受けたり、再現された大型展示で資料を調べたりする活動をしています。また体験学習室では、石臼や炭火アイロン等を、市民ボランティアの協力

のもと、体験しています。子どもたちは今と昔の道具を比較しながら調べ、昔の生活について考えることで当時の暮らしについて生き生きと想像を巡らせていました。



洗濯板でゴシゴシ

<第26回 むかしの勉強・むかしの遊び展>

1月16日(土)から2月28日(日)まで開催されています。

13日(土)と20日(土)には実物にふれる関連コーナーもあります。

是非ご家族でお越しください。

詳しくは、博物館までお問い合わせください。

TEL 222-5399

新入生の 1年間

入学式まで、あと2か月。4月から小学生になる皆さんや保護者の方は、新しく始まる学校生活に、期待と不安を抱いているころではないでしょうか。

今回は、1年生の1年間を、上戸小学校の活動をもとに紹介します。



運動会

入学式 4月

今年度は雪の降る寒い中、ピカピカのランドセルをしまった元気な1年生が登校してきました。男子50人、女子36人の新入生が上戸っ子として堂々と入場しました。



お話し会

地域ボランティアの方々に来ていただき、毎月お話し会を開いています。手遊びや読み聞かせ、パネルシアターなどをしてもらい、読書に興味を持つ子が増えました。



全校遠足 4月

縦割りグループのお兄さん、お姉さんと一緒に、川越水上公園まで歩いて行きました。上級生のみんなどオリエンテリングをしたり、鬼ごっこやボール遊びをしたりして楽しみました。



1年生を迎える会 4月

5年生が作った花のアーチの中を、4年生と手をつないでうれしそうに入場しました。胸には2年生が作ったペンドラント、頭には3年生が作った冠をプレゼントしてもらいました。



学校探検 4・5月

1回目は2年生と一緒に学校探検をしました。2年生から色々な教室を教えてもらいました。2回目は、1年生だけで探検し、特別教室にあるものや、職員室への入り方などを学習しました。



交通安全教室 5月

交通指導員さんを招き、おうちの人と一緒に横断歩道の安全な渡り方を学びました。「右よし、左よし、右よし、渡ります。」と、確かめることの大切さを教えてもらいました。





校内音楽会



獣医さんに来ていただき、うさぎのことを教えてもらいました。聴診器で心臓の音を聞き、その速さに驚きました。うさぎの抱き方も教わり、上手に抱きました。

獣医さんの出前授業 9月



1年間の主な行事

1学期

- 入学式
- 1年生を迎える会
- 学校探検
- 全校遠足
- 新体力テスト
- 校内硬筆展
- プール開き
- 交通安全教室



2学期

- 虫とり
- 生活科見学
- 獣医さんの出前授業
- 運動会
- 校内音楽会
- 上戸学園祭
- 歯科保健指導
- 校内持久走大会

3学期

- 校内書き初め展
- 幼稚園との交流会
- スクールガードリーダーさんの感謝の会
- 6年生を送る会
- 修了式



朝マラソンの時間や、休み時間など、進んで練習に取り組みました。校庭から河越館跡史跡公園へ800mのコースを最後まで走り切ることができました。

校内持久走大会 12月

ゴールを目指して全力で走った50m走、ポンポンを持つてかっこよく踊った「あいいうえおんがく」、腰を振って踊り、玉を投げ入れたチェッコリ玉入れ、どの競技や演技も力いっぱい取り組み、練習の成果を発揮しました。

運動会 10月

縦割りグループごとに遊びのお店を開きました。お店番では、受付や呼び込みなどの仕事をはりきってやっています。お客さんのときは、グループの人と仲良く色々な遊びを楽しみました。



上戸学園祭 10月

バスに乗り、こども動物自然公園に行きました。モルモットやうさぎを1人ずつ抱っこしたり、牛の乳絞りを体験したりして、動物と触れ合いました。コアラ、カピバラ、カンガルーなどはグループで回りました。

生活科見学 11月



教育相談Q&A

◆学習が苦手な小学生の進路について

【Q】 小学校5年生の保護者です。学習が苦手で、特別支援学級に進むことも考えています。将来のことを考えると不安になります。今後の進路について、どのように考えればよいでしょうか。

【A】 お子さんが成長するにつれ、どのような進路をとるかは、悩むところです。進路については、お子さんの実態に合わせて考えることが大切です。日頃から、お子さんと会話を重ね、本人のよさを生かせる進路を共に考える姿勢が必要です。

また、専門家の意見を聞いたり、学校の情報を得たり、幅広く情報の収集をするとよいでしょう。そのために、次の点について具体的に考えてみましょう。

①どのような学校があるのかわかりましょう

中学校の進路としては、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校があります。中学校卒業後は、高等学校の全日制（普通科、単位制、専門学科、総合学科）、定時制、通信制や高等専門学校、サポート校、特別支援学校の高等部等があります。学校公開などの機会を活用して、どのような教育をしているか、実際に見てみることも大切です。

②自分自身を見つめる機会を作りましょう

中学生になると、自分自身を知ることが重要となります。自分の好きなことや、やりたいこと、得意、不得意等を考えさせてください。自分の力を

を發揮して、生活していくには、どのような学習や仕事に適しているのか、少しずつ考える機会を作りましょう。

③将来について一緒に考えてみましょう

学校卒業後の進路としては、それ以降の進学や就労が考えられます。どのような学びの場や仕事があるのか、調べてみましょう。自分に合った進路を選択できるように、日頃から自分で考えようとする姿勢を育てることも大切です。学ぶことや働くことについて、保護者の方が経験談を話したり、先輩の話聞かせてみたりすることもよいと思います。

④日々の生活を充実させましょう

学校卒業後は、自立と社会参加が求められる。そのためには、小学校及び中学校のそれぞれの段階で充実した学校生活を送ることが重要です。お子さんと将来のことについて、じっくりと話し合う機会を作ると同時に、毎日の生活を大切に送ろうという気持ちを育てるようにしてください。

お子さんが自立した人となるために、学びの場や進路は大変重要です。そのために、学校等と将来の生き方について、一緒によく相談してください。

教育センター分室（リベール）では、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。

教育センター分室（リベール）

面接相談（予約制）：TEL 234-8333

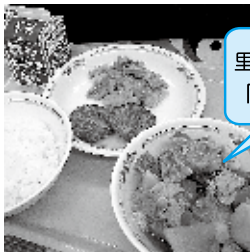
電話相談：TEL 234-8335

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～



里芋



里芋を使った献立「ざくざく煮」



大きな里芋の葉

毎年10月～2月の給食には、川越産の里芋を使った料理が数多く登場します。里芋の味噌煮など里芋が主役の煮物や芋の子汁、豚汁、のっぺい汁、けんちん汁など里芋の入った汁物があります。また、おでんやざくざく煮など他の食材と一緒に煮込んだものもあります。このように給食では、さまざまな料理で楽しめるよう工夫をしています。

里芋のぬめりには「ムチン」という栄養素が含まれていて、消化を助ける働きや腸の調子を整える働きがあります。皮をむく時にヌルヌルしてむきにくいと思いますが、半茹で位に茹でてから皮をむくと、とても簡単にむけます。残ったら一口大に切って冷凍庫へ入れて保存しましょう。

川越市内では主に福原地区で栽培されています。顔より大きな葉っぱが畑に生えているのを見たことはありますか。その土の中でたくさんの里芋が育っています。

ご家庭でも、今が旬の里芋を取り入れてみてください。

2月～3月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
にちようおはなし会	毎週日曜日 14時30分～		中央図書館 TEL222-0559
春のおはなし会	3月24日 15時～		
どようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 TEL237-5660
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712
どようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550
子ども体験教室 「昔の道具を使ってみよう」	2月13日・20日 ①10時～11時45分 ②13時30分～15時15分	○	
子ども博物館教室 「昔の織物に挑戦」	3月5日 10時～15時30分 申し込み＝2月2日、9時から電話またはファクス(定員20人)	○	
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月12日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月19日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月3日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)	○	
子ども卓球広場	2月6日、3月5日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月20日、3月19日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月13日 10時～11時		高階南公民館 TEL245-3581
土曜映画会	3月19日 10時～11時		
パネルシアターフェスティバル	3月31日 10時～11時		
石と森の夢工房	2月20日 10時～11時15分 申し込み＝大東南公民館へお問い合わせください。		
季節の遊び 「テラコッタを作ろう」	3月12日 9時30分～11時30分 申し込み＝2月25日、10時から電話、ファクスまたは大東南公民館窓口へ(先着30人)		大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
春休み子ども映画会	3月28日・29日 10時30分～12時		
第37回川越市ジュニアスキー教室	3月19日6時発～21日19時着予定 会場＝菅平高原スキー場 対象＝小4～中学生(定員120人) 申し込み＝2月12日消印有効でハガキ	○	スポーツ振興課 TEL224-6094
美術館探検クイズに挑戦	2月27日 10時～12時 申し込み＝2月2日、9時から電話またはファクス(定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870
紙粘土でぶたさんをつくろう!	3月26日 10時～12時 申し込み＝3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ の教室は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※「中学生」の欄に○がついている講座は、中学生にもお勧めの講座です。

フォトニュース News



木工班 製品販売の様子

チャレンジ発表を熱心にみている卒業生

川越市立特別支援学校 第52回 「輝き祭」

平成27年11月28日(土)、川越市立特別支援学校文化祭「輝き祭」が開催されました。日頃の学習成果の発表として、職業の授業で作った製品の販売、美術で制作した作品の展示、チャレンジ発表の展示が行われました。「チャレンジ」とは自分で課題を発見し、解決する方法を学ぶ総合的な学習の時間のことです。3年生のチャレンジでは、修学旅行先である沖縄の歴史文化や自然について調べました。そのほかに、喫茶店、ゲームコーナー、バザー、PTAによる模擬店も出店され、たくさんの地域の方々や卒業生が来校し、学校と家庭と地域の交流がより深まりました。

第57回「水道週間」協賛懸賞 図画の部 特選受賞

川越市上下水道局では6月1日から6月7日の水道週間に合わせて、「水道週間ポスターコンクール」を開催し、特選受賞作品を日本水道新聞社等主催の「水道週間」協賛懸賞に応募しています。

このたび、川越第一小学校2年鈴木琴美さんの作品が、「図画小学校低学年の部」において特選を受賞し、11月18日(水)、上下水道事業管理者室で授与式が行われました。受賞作品は、きれいな海で兄妹が手をつなぎ、生き物と一緒に泳いでいる様子を描いた、とても色鮮やかな作品です(写真左)。川越市公式ホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。



「水はみんなのたからもの」



受賞おめでとうございます

し とく
知っ得

知って
ちょっと
得意になれる!

ぶん か さい
文化財

第32回 「時の鐘のいまとむかし」

川越市のシンボルである現在の「時の鐘」が建てられたのは、明治27年。それから約120年の間に何度も修理をして、実は少しずつ形が変わっています。現在行っている時の鐘耐震化工事では、時の鐘を地震から守るだけでなく、建てられたときの形に戻す工事もしています。

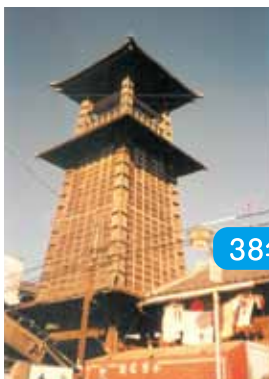
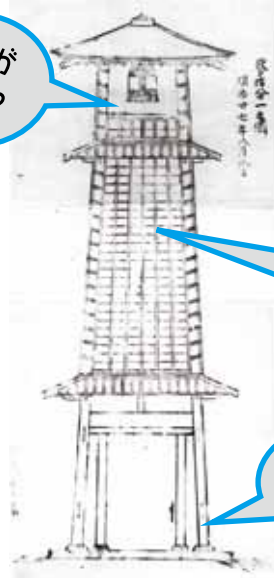
時の鐘は、明治26年(1893年)の川越大火で前の建物が焼失した後、川越の大工、関根松五郎の計画図をもとに建てられました。この絵といまの時の鐘ではいったいどこがちがうでしょう？

横棒がない？

明治27年(1894年)の計画図。こまかい部分まで描かれています。

壁に小窓がない？

脚がすっきりしてる？



いま

121年前



写真で見る 時の鐘のむかし

昭和52年(1977年)はほとんどいまと同じです。まわりの電線が地中化されるのは平成になってからです。

時の鐘の形が確認できるもっとも古い大正元年(1912年)の写真。計画図のように横棒がなく、壁に小窓もありませんでした。

『埼玉縣写真帖』大正元年発行



昭和32年(1957年)の写真では、上にも小窓があったことがわかります。このあと、昭和35年に大修理が行われました。

『川越市市勢要覧 昭和32年版』中央図書館蔵



昭和16年(1941年)の写真では、なんとガラス窓がついていました。いまも残っている横棒は、この窓をとりつけた「鴨居」と見られています。

小窓の位置もちがいますね。

『川越市市勢要覧昭和16年度』中央図書館蔵

市教委だよりNo.107 発行／川越市教育委員会教育総務課 TEL(224)6074(直通)

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき基本方針の判断を高たす紙を使用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

市教委だよりは再生紙および大豆油インクを使用しています

